


<p>学校教育目標</p> <p>自ら輝け 夢をつかめ</p> <p><笑顔・感動 はつらつ植水></p>	<p>学校だより</p> <p>瑞穂</p> 	<p>令和2年度10月号</p> <p>令和2年10月1日</p> <p>さいたま市立植水中学校</p>
---	---	--

やることがいっぱいある生徒がたくさんいる学校

校長 茂木 里仁

通勤の途中、どこからともなく金木犀の甘い香りが漂ってきます。日中はまだ汗ばむような日もありますが、朝夕の涼気に秋の気配が感じられる頃となりました。保護者、地域の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと存じます。学校では、9月18日（金）に体育祭を実施いたしました。新型コロナウイルス拡散防止のため保護者、地域、ご来賓の皆様の参観なしの体育祭とはなりました。しかし、【円陣校歌の様子】今年度はじめての大きな行事に情熱を傾け、一つひとつの競技種目を真剣に一生懸命に取り組む姿や、笑顔溢れる姿が見られ、素晴らしい体育祭になりました。閉会式では「植水中にレジェンドを創ろう」を合言葉に生徒、教職員が円陣を作って一つになる「円陣校歌」を実施しました。子どもたちは体育祭をやり切った達成感と充実感で、大きな声を校庭にこだまするほどの声量で校歌が響きわたりました。これが、植水中学校の良き伝統になれたら素晴らしいことだと思います。そして勝ち負けだけに捉われず、お互いを応援しあう姿に感動させられました。



さて、絵本作家のヨシタケシンスケ（吉竹伸介）さんを知っていますか。以前本校図書館で「このあとどうしちゃう」[ブロンズ新社]という絵本を読みました。 ※本校の図書館には、この絵本をはじめ、たくさんヨシタケシンスケさんの絵本があります、是非読んでみてください。

「こないだ おじいちゃんが しんじゃった」という男の子の一声で始まる絵本です。おじいちゃんが死んだ数日後、男の子がおじいちゃんの部屋を掃除していると、一冊のノートが出てきます。ノートの扉のページには、「このあと どうしちゃう」と書かれています。ノートを開くと、おじいちゃんは自分が死んだ後の予定や、天国で会いたいいろいろな神様のことや、おじいちゃんが想像した天国のようす、生まれ変わったらなりたいもの、みんなを見守る方法、など「死んだあと、どうしたいか」がたくさん書かれています。

男の子は、ノートを読み進めるうちに考えます。「おじいちゃんは何だか楽しそうだけど、本当は死ぬのが怖かったんじゃないかな？だから、こんなノートを書いたんじゃないかな？」と考えます。そして、自分もおじいちゃんと同じノートをつくってみようと思立ちます。早速ノートを買ってきて、自分が死んじゃった「あとのこと」を考えます。そうすると、今、生きているあいだにやりたいことがいっぱいあることに気付きます。考えなくてはいけないことがいっぱいあることに気付きます。結局、男の子は自分らしいノートをつくることにしました。

タイトルは「生きているあいだは どうしちゃう」ノートです。そして、自分は何をしたいのかを改めて考えてみます。最近、芸能人の「自殺」が相次いで起こりました。みなさんは、今日、やりたいことははっきり言えますか。やりたいことがいっぱいありますか？生きているからこそやりたいこともやれます。やりたいことがいっぱいある生徒がたくさんいる学校にしたい、それが私の目標です。みなさんが「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校」そんな学校になれたらいいなと思っています。